土木学会　新しい高性能鋼と利用技術に関する調査研究小委員会（第8回）議事録（案）

日　時：平成20年8月20日（水）15:00～18:00

場　所：土木学会F会議室

出席者：本間宏二，小西拓洋（欠），酒井修平（欠），市川篤司（欠），保坂鐵矢，千葉照男，藤原 良憲（欠），白旗弘実，山口栄輝（欠），多田賢，齋藤聡，渡邊秀貴，織田博孝，田中睦人（欠），藤井堅（欠），慶甲秀（欠），岡野重雄，鷹羽新二（欠），澁谷敦（議事録作成）（以上出席１０名、欠席９名(敬称略)）

配布資料：

資料 8- 1：　第7回委員会議事録
資料 8- 2：　東京港臨海大橋（仮称）製作基準書（案）　表紙と目次
資料 8- 3：　南北水路横断橋　溶接施工試験報告書
資料 8- 4：　設計WG資料　連続合成桁の試設計
資料 8- 5：　　トラス橋の試設計
資料 8- 6：　　許容応力度法による線路上空地盤ＣＦＴ柱の計算例
資料 8- 7：　設計法WG報告書（案）
資料 8- 8：　施工WG議事録
資料 8- 9：　臨海大橋　溶接施工試験概要の各社比較
資料 8-10：　平成21年度「出版企画書」の提出について

■ 議事

1．前回議事録確認（本間委員長）[資料 8-1]

2．新資料入手報告

・前回話題提供の「最近の韓国鋼橋事情」のPPT，および東京港臨海大橋製作基準 [資料 8-2] を本委員会の共有フォルダにアップロードする．また，横浜技術調査事務所で橋梁と基礎に2回投稿しており，その中でBHS鋼の経済性についても記述している．

・渡邊委員より南北水路橋において実施された溶接施工試験の内容の説明，および報告書の提供がなされた．[資料 8-3]

3．設計WGおよび製作WGの活動状況報告

（1）設計WG [資料 8-4, 8-5, 8-6, 8-7]

・連続合成桁，トラス橋，およびＣＦＴ柱の試設計の報告がなされた．使用鋼種をSM570からBHS500にかえた結果では，BHS鋼の使用による経済効果はみられない．橋梁の長スパン化や新形式橋梁などを検討してはどうかという意見があった．

（2）製作WG [資料 8-8, 8-9]

・臨海大橋において各製作会社で実施された溶接施工試験の項目・内容を纏める．

・ショートビードおよびロール方向規定の緩和？などBHS鋼の特性を纏める．

4．平成2年度出版企画書の提出について [資料 8-10]

・本委員会で出版企画書を提出する．

・今年度内に報告書を作成する（講習会または報告会の実施の可能性あり）．

5．次回委員会 開催日時・場所等

平成20年10月16日（火）13:00～18:00　臨海大橋の地組立現場（川田工業）

6．その他

議事録作成について・・次回以降，渡邊→織田・・・(委員名簿順)。

以上